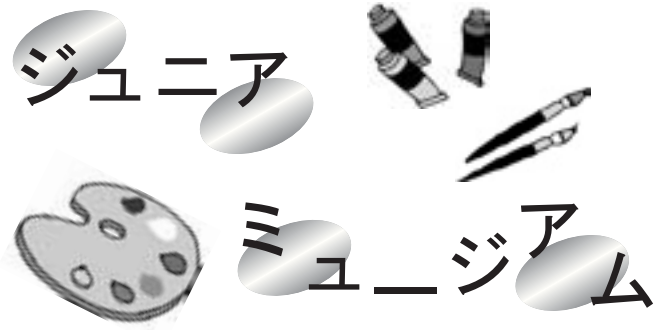


ぼくは、体育の時間に、なわとびをしました。なわとび板をつかって、二重とびのれんしゅ

「なわとび」

佐野島一貴くん



うをすることにしました。やまとくんとともきくんといっしょにれんしゅうしました。やまといくんとは、ライバルなので、きょうそうしながら、すごいがんばりました。

ぼくの番になりました。この前までは、一回しかとべなかつたけど、何度かとんでいるうちに、たくさんとべるようになりましました。先生に見せに行ったら、「すごいじゃん!」と言ってくれました。先生は、指で、「グーッ!」としてくれました。ぼくは、「やったー!」と言いました。たくさんとべるようになってよかったです。ライバルのやまとくんに勝ったから、もつとうれしかったです。あと、ともきくんにも、今まで負けていたけど、勝てました。そのことももつともつとうれしかったです。これからも、もつとれんしゅうして、たくさんとべるようになりたいです。



運動が大好きな一貴くんらしい作文ですね。ライバルがいることは、とっても素晴らしいことだね。

石田えみりさん



小四 石田えみり
線の太さもよく、丁寧に書きました。名前も上手です。

関根裕美さん



小六 関根裕美
一画二画がていねいに書けています。特にはらいがしっかりしています。名前もとてもていねいに書けています。

「虫たちのおんがくかい」

宮原慧也くん



評) にぎやかな音楽が聞こえてきそうだね!



「明かり」

吉川ルノくん



評) 木のぬくもりと光のあたたかさが伝わり、ほっとする作品です